

## 塗料マイスター制度で人材育成を



日本塗料商業組合  
理事長 中山保幸

新年あけましておめでとうございます。新春を迎え謹んでご挨拶申し上げます。

輝かしい新たな年の初めを皆様におかれましては、健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は組合員の皆様をはじめ関係団体並びに関係各位には、当組合の活動に格別のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。本年も倍旧のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

昨年は、春に大阪・関西万博が開催され夏以降には入場の予約をできない状態まで活況をおびました。おかげで関西をはじめ国内の経済効果も期待され、又日経平均株価が 50000 円をはじめ突破し、ようやく明るい兆しがみえたかに思いましたが、記録的な円安やお米をはじめ物価高騰が社会的問題となり、又人手不足や賃金の上昇が働き方改革への足かせとなり対応の鈍化につながる原因となっております。

塗料業界におきましても落ち着いた価格改定や物流経費・配送についてもまだまだ流動的で不確実性が増大しており、私たちを取り巻く状況は依然として厳しい環境が続いておりますが、大変な時にこそ皆様と協力し合いコミュニケーションをとりながら研鑽と交流を深め、組合活動を進めてまいりたいと思います。

引き続き各委員会、各ブロック会も精力的に活動する予定です。特に塗料マイスター制度につきましてもスタンダードの検定を行って各支部、組合員にも浸透しつつあり、今年には次のステップに踏み出すように調整をしております。そして、調色技能検定制度も厚労省の専門委員会で統廃合等の検討が数回行われましたが、東京会場を新設し次年度も会場の増設の目途がたち受検者数の増員に向けての準備が着々と進行しています。

このように人材育成ツールとしての検定・講習を行い組合と社業の発展に寄与して組合員が組合活動を通じてお互いに尊重し、協力して組合員の交流や最新かつ有益な情報提供に努めて参ります。

塗料はご存知のとおり半製品であり、塗膜になって最終的に製品としての機能を有します。その最終製品に必要な不可欠な産業を支え、地域社会と密接に関与し社会に貢献してまいります。その為にも日々切磋琢磨し、技術の向上を目指して努力を重ねて参りたいと思います。

日塗商は塗料販売店の全国で唯一無二の組合です。組合員の安全・安心を守り販売店の地位向上、発展の為に一層の努力を重ね組合員の一助となれるように全力を尽くすように活動してまいります。

そして、関係団体並びに関係各位と引き続き連携を図り組合運営に尽力してまいりますので、尚一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。